

ついこの間、幾つかの新年挨拶文を書き終えてホッとしたところですが、年度末となる3月号の編集後記執筆となりました。時の経つのは本当に早いですね。それにしても文字を書く機会が減り、手書きしようとする随分漢字を忘れたことに気が付きます。会員の先生方は如何ですか？

先月の金城広報委員の編集後記はとてもユニークで面白い内容でした。毎月の記事の内容を簡潔にまとめているのが編集後記ですので、1冊の内容を把握するには好都合であり、それを手がかりにして、興味ある記事から読み進める事が出来ると述べています。なるほど、それでは編集後記の名称を変えいっそのこと1番初めのページに持ってきたらどうかと考えてみました。

私も読書は好きな方ですが、一般的な小説・物語は全く読みません。経済誌、優れた現在トップ経営者の自叙伝、また、松下幸之助氏の話も大好きです。先月、たまたま凄い月刊誌を見つけました。なんと私の好きな経営・経済分野の本を多数集め、各々4ページにまとめ届けてくれるというのです。ほんの数日前手元に届き、わくわくしながら読み始めました。ところが…面白くない。流石に言葉は奇麗ですが伝わらない。やはり本物は超えられない。編集後記も表に出ず、最後のまとめとして後方に君臨すべきものなのでしょう。ただ、編集後記から中に入る裏技はお勧めです。

まず、「医事紛争処理について」稲田先生の熱い思いといかに我々会員のために御尽力されているかよく伝わります。頭が下がる思いです。次に、ベテラン金城先生の「家族計画・母体保護法指導者講習会」「都道府県医師会共同利用施設担当理事連絡協議会」詳細な御報告。小渡副会長の都道府県医師会長協議会の微に入り際に穿つ御報告。今月の目玉記事となる「トピックス」、まず、第111回沖縄県医師会医学学会総会。本当に充実した素晴らしい学会でした。なごみ会県民フェア。名前に相応しい温かい会で、楽しくかつ勉強になったようです。平成23年沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰式。多く名会員が参加された盛大な式典でした。沖縄県小児救急電話相談事業意見

交換会。「マスコミとの懇談会～特定検診について～」、玉井先生の渾身のお仕事。熱い議論です。ぜひ一読下さい。続いて、生涯教育コーナー「冠攣縮性狭心症の診断・治療について」南部医療センター循環器科の砂川長彦先生の投稿。事細かく、非常に洗練された文章で書かれています。特徴、病因、病態生理、診断、治療、症例提示と理路整然完璧でした。インタビューコーナーは、北部福祉保健所所長：島袋全哲先生です。先生の地域医療に対する地域に根ざした熱い思いが伝わりました。

続いて月間行事。耳の日に因んで、知念耳鼻咽喉科知念信雄先生の記事。「子どもの中耳炎」とても分かり易く勉強になりました。子ども予防接種週間に寄せて、ぐしこどもクリニック具志一男先生の記事、各種ワクチンの細かい解説と接種法と同時接種の必要性、予防接種の未来等理解し易くまとめられています。世界腎臓デーに因んで：琉大病院血液浄化療法部准教授井関邦敏先生の投稿です。今ホットな慢性腎臓病(CKD)に対し、概念の提唱、発展、予防、今後の展開、さらに沖縄県での活動、戦略研究とCKDに対する井関准教授の熱意が伝わる文章です。さらに、世界結核デーに因んで：国立病院機構沖縄病院呼吸器内科仲本敦先生の記事。結核の疫学、現状、新たな結核対策を述べ、おわりに逝去された青木先生のご冥福を祈って結んでおります。若手コーナー：県立宮古病院医療部長本永英治先生と内科医師末田善彦先生との温かい人間関係が読み取れます。本の紹介：浦添総合病院外科宮里恵子先生からの文章を書くのが苦手なあなたへ、オススメの一冊。ぜひ読んでみたくなりました。また、宮良眼科医院宮良長治先生お薦めの一冊。「孤高の人」、登山の奥深さか、人生の奥深さか、読んで考えてみたい。随筆コーナーは、西崎病院吉川朝昭先生作「盤山精肉」彼の天才的な文章力は南部地区医師会では有名な話であるが、今回またいつもと違う文章を読ませて頂きました。そのキャバ、恐るべし。

忙しい日々が続きますが、会員の先生方、御自愛下さい。

広報委員 玉城 清酬